



同友会の活動はこちらのQRコードからご覧いただけます。▶



2

2019年

月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

跡取り物語シリーズ⑭

物心ついた時から三代目と言われて

高崎支部・青年部会合同例会



十二月十四日(金)、高崎市総合福祉センターを会場に「高崎支部・青年部会合同例会/跡取り物語シリーズ⑭」を開催。NC旋盤・マシニングセンタを主とした金属部品加工を手掛ける(有)小板橋産業、代表取締役・小板橋哲也氏(富岡支部)が報告者を務め、「物心ついた時から三代目と言われて色々な勘違いに気付かされて今がある」をテーマに、自身の経営体験を語りました。

十二月十四日(金)、高崎市からスタートした高崎支部の名物例会。島山氏が報告した第一回から昨年の布施氏まで、過去十三回にわたり県内各支部で活躍する会員を報告者に学び合ってきました。今回も昨年に続いて青年部会との合同例会として企画され、約40名の参加者が集まりました。

跡取り物語シリーズは、事業承継や後継者の悩み・課題などの交流を目的に、平成十八年から。小板橋氏は、三代目の跡取り息子として周囲の期待を一身に浴びて育った幼少期、ヤンチャで遊び呆けていた中学・高校時代、あるいは同社入社から専務就任、一昨年四月の社長就任に至る波乱万丈なエピソードの数々を紹介。社長就任当時の心境については「トップの責任の重さを痛感。これまでは先代に文句を言うだけで、何も自分で決めて来なかったことに気付かされた」と振り返りました。

また、同友会活動への参加を通して、支部例会から「自分の弱さを隠すためにツツパって生きてきたが、自分の弱さを見せられる本場の強さに気付かされた」、経営指針をつくる会からは「父(先代)とは喧嘩が絶えなかったが、自分が継がせるために堅実な経営をしてきたことに気付かされた」など、様々な「気付き」があったことを紹介。報告の最後には「変わったね」と言われることも増えたが、まだまだ皆さんの叱咤激励が必要。もっと経営者として成長し、良い会社をつくっていきたく」と力強く語りました。その後は小板橋氏の報告内容を受けて「弱さを見せられる強さとは？」をテーマにグループ討論を実施。「自社の弱みを社員と共有すれば強い企業づくりにつながる」「自分の弱さを見せれば必ず協力者が現れる」「言ったこと、決めたことを貫く強さが経営者には必須」など、様々な視点から活発な意見が出されていました。



事業承継後の軌跡

前橋支部12月例会

前橋支部では十二月二十日(木)、前橋市中央公民館を会場に、各種産業機械・環境プランの設計・製作・施工、大型精密機械加工・各種機械加工などを行うサラフジ(株)代表取締役・佐藤孝志氏(同支部副支部長)が「事業承継後の軌跡」迷いと

葛藤を繰り返した三年間」と題して、自身の事業承継から現在までの経営体験を報告しました。プロフィールと会社紹介に続き、先代の経営と自身の経営を対比させる形で報告を進めた佐藤氏。「極めて良い経営状況の



中で引き継いだ。今の社員が未来永劫いれば問題なく事業は継続できる」と語る一方で、社員の年齢構成を挙げ「平均年齢が三十六歳程度。近く定年を迎える社員が少なく人件費は上がり続ける。加えて人手不足で若手を採用してもさらに人件費が増加する」という人的な循環が出来ていない事を課題の一つとして紹介しました。

今後については「適正に給与を増やしていくために、限



界利益増を意識して、全社レベルアップ」と「人財確保」を重点方針に掲げ、スピード感を持って革新に繋げたい」としました。

報告終了後は「自社の事業承継の課題と対応」とのテーマでグループ討論を行い、参加者それぞれの会社・立場の違いから、いづれ来るその時の考えについて率直な意見を出し合い、共有しました。

参加者アンケートには「事業承継の本質的な悩みを聞くことができた」「先代との違いの自覚、また社員への浸透、顧客や社員への責任感を感じた」「まだ早いと思わず、常に次代を見据えた経営をしていきたい」といった感想が綴られていました。

平成最後の忘年会

太田支部12月例会



十二月十三日(木)、太田市内の中国料理・賓館を会場に、太田支部十二月例会「平成最後の忘年会」を開催しました。

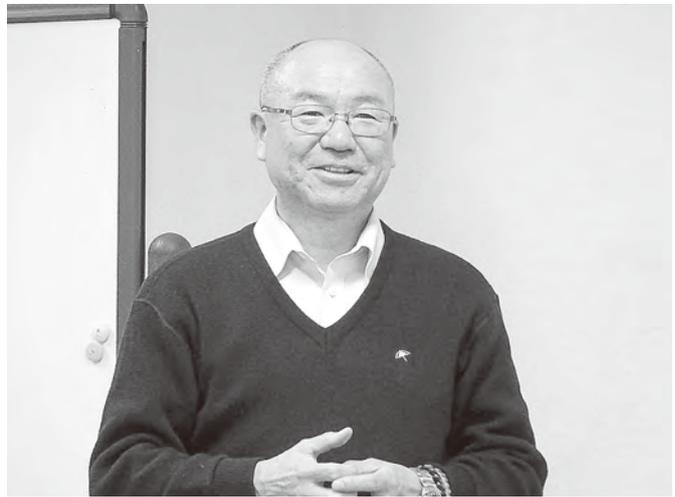
当日は忘年会らしく、今年もしくは平成時代を振り返り、一人二分程度の時間で参加者全員にスピーチを依頼しました。それぞれが今年の業績や、社内での取り組みなど紹介しましたが、プライベートでの事件や思い出をおもしろおかしく話す姿が多く見られ、スピーチの時間は終始笑顔が絶えず、あつという間に全員の報告が終了しました。

また、当日は十二月から会員として参加する二名も出席していましたが、一言スピーチで会社紹介・自己紹介を済ませて、和やかな雰囲気にお酒も手伝い一気に太田支部に馴染んだようでした。

二〇一八年最後の例会で、新会員も含めた会員同士の距離感がグッと縮まり、来年の太田支部活動に期待が膨らむ忘年会となりました。

債務超過からの会社づくり

渋川吾妻支部12月例会



渋川吾妻支部の十二月例会は、「実録！債務超過からの会社づくり」社員一人ひとりの幸せを願って」と題して、富岡支部長をつとめる(株)サンテックスの田村社長が報告しました。

入社時の自己資本比率はマイナス一六・一％。継承前からの債務超過を何とかしたいと、平成十四年に同友会に入会。

経営指針をつくる会への連続参加を中心に同友会で学んだことをどんどんと自社へ活かし、会社を変えてきたことを率直に報告しました。

しかし、うまく行くばかりで

はなく、失敗も繰り返してきた田村氏。つい最近も一人の社員の言動から社内の雰囲気が一変し、売上も下降するという出来事がありました。「社員のモチベーションひとつで売上まで変わってしまうことを痛感した」と語りました。

参加者からは「いろんな失敗があつて経営者は強くなれるんですね。恐れることなく前に進みたいと思います」「笑顔の社長ほど苦労していると思つた」「とても情熱的で、共感できる報告で感動しました」などの感想が寄せられていました。

楽しいグループ討論のすすめ

高崎支部12月例会（特別例会）

十二月二十日（木）、ビエント高崎を会場に「高崎支部十二月例会（特別例会）」を開催。埼玉同友会の(株)フォーアスマイル、代表取締役・後藤真吾氏を講師に招き、「楽しいグループ討論のすすめ」すぐに実践したくなる！凄腕グループ長講座」と題してお話いただきました。

後藤氏は、他県の例会や全国

行事に参加するなかで得た「良い例会と良いとは言えない例会の違い」を説明したうえで、グループ長の役割・事前準備・心構え・具体的な進め方などを自身の経験に基づいて紹介。「例会の良し悪しはグループ討論に掛かっており、いかに報告内容を討論で深めたかに大きな意義がある」と語りました。また、グループ長はリーダーの資質を鍛える最高の役割と定義して「ぜひグループ長を積極的に引き受けてほしい」と参加者に呼び掛けました。



例会アンケートには「例会のあり方、グループ討論のあり方が体系的に学べた」「次回のグループ討論が楽しみ。経験を積んで経営者の資質を磨きたい」「自社の会議が盛り上がりやすい理由に気付かされた」などの感想が綴られていました。

アルミ精密部品の切削加工メーカー

株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL : <http://www.apm-f.com> E-mail : fuse@apm-f.com

S/S 株式会社 エス・アイ・エス

企業の様々な課題をコンピュータシステムで解決！
(自動化、効率化、見える化、高速化)

★システム化事例

生産管理、工程管理、ガントチャート工程管理、在庫管理、原価管理、調達管理、図面配布管理、計測器貸出管理、販売管理、工事書類一括作成、耳標管理、安否緊急通報、ルート配達管理、他

ソフトウェア、ハードウェア、ITサポート、ITコンサル、IT環境構築

お気軽にご相談ください。 Tel : 0274-63-0466
〒370-2312 富岡市星田632-1 <http://www.sis-jpn.co.jp/>

経営の根底を支える「他人楽」

富岡支部12月例会

(記事/支部長・田村)



報告者の佐藤氏(エス・アイ・エス社長)の会社は、ソフトウェアの開発、ホームページ等のコンテンツ製作、コンピュータ機器などの販売・メンテナンスを行っております。

多くの客先を持ち、自分で学んでつくり上げた経営理念をしっかりと掲げて経営に取組んでおります。その経営理念は、技術・アイデア・真心を基軸に挑戦する心を持ち、社員の意識(人格)の向上に努めることにより人生を楽しくすることを願っています。

社員は普段パソコンに向かい会話がなないことへの対応として、理念の唱和、自由テーマ発表、会議の活用等を行っております。そして、記念行事や海外への社員旅行を企画し社員同士の和を大切にしております。

働くとはどういう事か、一時農家をしていた時、夏にスーツを着てクーラーを利かせた車に乗っている人を見て、世の中は自分の出来る仕事でお互いが繋がって成り立っていると感じづきひらめいた。それが、「働く(はたらく) ↓ 他人楽(はたらく)」だそうです。



いくつかの会社に就職した後、起業して今に至ります。たくさんの方のお蔭で大変な時期は多くあったが、苦しいギリギリの所で新しい良い縁ができ、縁と言うバトンがリレーで運ばれるようになり会社の今があるそうです。

最後に、宇宙の話に移ります。佐藤氏は、座禅により瞑想で宇宙との一体感を学んだそうです。そこには、「心は相手に伝わる」相手を悪く思えばそのように伝わり、ゆえに相手に対して悪いことは考えないようにしているそうです。

これからの課題は、六十五歳で社長交代し、その際にやらせてみたい社員に引継ぎたいとのこと。

例会后はみんなで「望年会」(※富岡支部ブログより抜粋)

二〇一九年の夢・目標

桐生支部12月例会

十二月十三日(木)、雄鯨を会場に桐生支部12月例会を開催。「たのしい忘年会(二〇一八年の振り返り)／二〇一九年の夢・目標」と題して、参加者それぞれが今年の振り返りと来年の夢・目標を交流しました。

開会挨拶・乾杯に続き、今年一月例会で発表した「二〇一八年の夢・目標」の達成度、並びに、受付で記入した「二〇一九年の夢・目標」をもとに、参加者全員が限られた時間のなかで発表。年初目標の達成・未達成はあったものの「前年対比売上二〇%アップ」「新事業への挑戦」「社員の働きやすい環境づくり」など、来たるべき二〇一九年に向けて、新たな目標を力強く語りました。その後は参加者それぞれの夢・目



標を酒の肴にして懇親を深めました。

今回記入した夢・目標シートは事務局で回収・保管し、半年後、あるいは一年後の進捗確認に活用予定です。「言ったからには達成しなければ...」。皆さんの奮起が期待されます。

災害に備える企業づくり

伊勢崎支部12月例会

十二月十八日(火)、プラザ・アリアを会場に「伊勢崎支部十二月例会」を開催。伊勢崎市総務部安心安全課、防災係長・定方淳氏を講師に迎え、「伊勢崎市の地域防災計画」災害に備える企業づくりのために」と題してお話しいただきました。

本例会は、近年の頻発する自然災害(地震・台風・ゲリラ豪雨・雪害など)によって日本各

地で甚大な被害が報告されていることを踏まえ、災害の被害を最小化する防災、企業活動の維持または早期回復をめざす事業継続の両面から、自社の企業防災のあり方を再点検するために企画されました。

定方氏は、今年発生した西日



本豪雨や北海道地震、あるいは二〇一一年の東日本大震災などにおける数多の事例や教訓を丁寧に説明。「伊勢崎地域は災害が少ないと言われるが紙一重」「人間心理には自分分は災害に巻き込まれることはない」という正常化バイアスがある」「行政は避難指示・避難勧告はできるが、命を守る最終的な責任は個人にある」などの言葉を参加者に投げ掛けました。

また、企業防災については、BCP(事業継続計画)で決めておくべき基本事項を確認したうえで、有事の際には「経営者が率先して避難行動を取る。経営者が



会社に留まっていると社員の逃げ遅れにつながる」と指摘。「経営者には社員の命を守る義務がある。そのことを肝に命じてほしい」と語りました。

報告終了後は「自社の企業防災(防災・事業継続)のあり方」をテーマにグループ討論を実施し、各社における企業防災の仕組みや実践事例などを交流。「防災意識の低さを痛感。まずは社員としっかり情報共有する」「BCPの周知徹底と定期的な見直し。形骸化していた避難訓練を復活させたい」「経営者の責任。社員の命を預かっていることを自覚する」など、活発な意見が交わされました。

近況報告・忘年会

沼田支部12月例会

十二月十八日(火)、司鮎を会場に「近況報告・忘年会」として二〇一八年の締めくくりとなる十二月例会を開催。忘年会ということもあり、通常の報告を聞いてグループ討論をするプログラムとは変えて、参加者全員が時間を区切って近況報告をする流れで企画されました。

開会時間になると、(有)実庭・桑原社長が提供してくれたりんごのお酒「シードル」で乾杯。まずは司鮎の料理とお酒を

楽しみました。程良くお酒も入り口が滑らかになってきたところで、参加者全員による近況報告を開始。現在の経営状況や今年の振り返り、来年の抱負などを思い思いに語り合いました。

仕事の話しもプライベートな話題も、気さくに語り合える仲間と過ごす時間が作れたことで、会員同士の距離感がより一層縮まったように感じられました。



アルマイト・メッキ(亜鉛、ニッケルetc)・真空蒸着
含浸処理・塗装(UV、粉体、溶剤、カチオン)

上毛電化 株式会社

ISO9001:2015認証取得 エコ・アクション21認証取得

〒375-0056 群馬県藤岡市三ツ木336-6
TEL: 0274-24-3228 FAX: 0274-24-4841
URL: <http://www.alumite.jp/> E-mail: joumou@vesta.ocn.ne.jp
関連会社(表面処理)ヘイワテクノ株式会社 株式会社高橋塗装工業所



願いを叶える “きれもの”づくり!

(株)ビット

代表取締役 柳沢 哲也 氏 (富岡支部所属)



Q & A

▼会社紹介

当社は一九五九年に先代が川崎市で創業しました。もともとは旋盤で使われるバイトの台金をたたく鍛冶屋でした。

一九七五年に富岡市へ移転し、一九八二年から精密工具分野へ進出しました。そして一九九九年に柳沢工業から(株)ビットへと商号変更し、新社屋を建て、新しい船出としました。経営指針をつくる会で学んだことを活かして昨年改定した「きれものづくりで公器となる」を経営理念とし、おかげさまで本年十一月には創業六〇周年を迎えます。

▼自己紹介

私自身は小さい頃から跡を継ぐよう母親から諭されてきましたが、ものづくりが苦手だったので、当初はあまり継ぎたくないと思っていたのが正直なところ(笑)。

しかし、自分自身の置かれた環境を考えたとき、「これが私の天命である」と気づき、継ぐことを決心しました。そし

て三年間の修行勤めを経て、一九九一年に入社しました。

入ってみると職人気質が強く、人の仕事には口出しできず、ときにはけんかをして、就業途中に帰られてしまうこともよくありました。おおよそ会社とは思えない状況でした。それからひとつ一つ問題を解決していく毎日でした。

二〇〇六年、社長に就任してからも手形の発行を禁止したり、退職金の積立を始めたたり、5S活動を開始したり、朝礼や経営会議・全社会議を始めたたり、財務数値も公開したり、人事評価制度も整えたり、新卒採用も始めたりと、ここへ来て、ようやく普通の会社に近づいてきたと思っているところです。

▼今回のイチオシは?

当社は、バイトといわれる旋盤や平削盤などでの切削加工に用いられる工具の設計・製作・販売を行っている会社です。

特に、ろう付技術と刃物成形技術には「こだわり」を持っており、刃物の一貫生産体制を整えていることが当社の特徴です。

そのため、「お客様の願いを実現するフレキシビリティに対応」が当社の強みです。

私たちが日々つくっている工具は、製品と違い、余り目立つことはありません。しかしながら、私たちは工業界の縁の下で力持ちとして社会に貢献していると、社員一同自負しております。切削工具のことなら何なりとご相談ください。



▼今後の展開について

冒頭ご紹介の通り、おかげさまで十一月には創業から六〇周年を迎えますが、(株)ビットになってから二〇年の節目でもあり、十一月二十三日には『創業六〇年祭』を開催することになっていきます。これからも着実に歴史を重ね、名実ともにオンリーワンの会社をめざして行きたいと思えます。

そのためにも、社員が成長できる場づくり「きれもの支援制度」を積極的に推進し、いっそうのレベルアップを目指していきます。今後ともよろしく願い申し上げます。

所在地／群馬県富岡市岩染343
連絡先／TEL0274-62-1744
URL／<https://biteway.jp/>

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【シェアオフィス・コワーキングを計画】

(有)真下会計事務所

(有)真下会計事務所(専務取締役・真下康久氏/太田支部所属)は、本社事務所を建て替える。顧問先支援や地域貢献の一環として、建物内にシェアオフィス・コワーキングスペース、レンタルオフィス・会議室などを設置。外部も含めた士業からのアドバイスが受けられる点を強みとする。来春の完成を目指している。シェアオフィス・コワーキングスペースには、コピー機などを設置、ドリンク飲み放題とする。会員制とし、時間貸しや月額制などのプランを用意。顧問先は割引料金で利用できるようにする。会議室も展示会やセミナーなど、さまざまなスペースとして貸し出す。

真下専務は「中小企業経営者が集中して考え事ができる場所。また連携した弁護士や司法書士などに相談することもできる。創業希望者や若手経営者などもサポートしていきたい」と話している。
[12/20付ぐん経]

【前橋のソースかつ丼に特化したアプリ開発】

中央カレッジグループ

中央情報経理専門学校(中央カレッジグループ・代表理事・中島利郎氏/前橋支部所属)の2年生12人が、前橋のご当地グルメ「ソースかつ丼」に特化したスマートフォンアプリを開発した。学生がお薦めする市内の店舗を紹介するとともに市内の観光ルート、クーポンなども盛り込んだもので、19年1月中の配信予定。アプリの名称は「サクッ!!とまえばし キャラクターとソースかつ丼めぐり」。同校の観光ビジネス学科、情報経理学科、情報システム学科の学生が携わった。アプリのダウンロードは無料。19年3月までに3500ダウンロード、アプリにより1店舗当たり50人の集客を目標としている。
[12/20付ぐん経]

【仮想企業大賞で最高位賞】共愛学園前橋国際大学

共愛学園前橋国際大学(学長・大森昭生氏/前橋支部所属)の学生が、2日に京都大学で開催された「第18回ユースエンタプライズトレードフェア」に参加し、最高位賞の京都府知事賞を受賞した。同大学は今回15回目目で6チームが参加。京都府知事賞を受賞した同大学の仮想企業「プルグナ」は、県産梅の主要品種「白加賀」を使った商品開発を行い、「白加賀」の特性と梅の持つ効能に着目し「白加賀」を使用したジェラート大福「一福」を開発した。「プルグナ」が受賞した京都府知事賞は公共の視点で社会貢献が最も高かったチームに贈られる賞で、同大学としては3年振り6度目の最高賞受賞となった。
[12/20付ぐん経]

【金属製の上毛かるた】

(有)山崎製作所

精密板金レーザー加工の(有)山崎製作所(代表取締役・山崎将臣氏/高崎支部所属)の販売するメタル製の上毛かるた「上毛かるたmini」が話題になっている。高崎経済大学の学生の意見を参考に商品化したもの。価格は税込1万7,000円で、プレゼント用などとして購入されているという。同製品は上毛かるたを読み札、絵札それぞれを金属に

加工したもの。サイズは紙のかるたの約4分の1。44枚の絵札・読み札がセットになって木箱に収まっている。オーダーメイドで、注文を受けてから納品まで1週間程度かかる。

上毛かるたプロジェクト担当で同社設計・デザイン企画室の山崎大輝氏は「レーザー加工機の設定を絵札ごとに変える必要があり、44パターン作らなければならず苦労した。今後は商品をもっと広めたい」と話している。
[1/17付ぐん経]

【幅広いコンテンツ揃えた会員制複合施設】

(株)メモリード

冠婚葬祭業の(株)メモリード(取締役・渡辺秀信氏/前橋支部所属)は2月1日、フィットネス、スパ、カルチャー、カフェなどの幅広いコンテンツをそろえ、自由に利用できる会員制複合施設「グランクラブ高崎」を開業する。メインターゲットは中高年で、「この場所を中心に新しいライフスタイル、出会いと交流、地域コミュニティが広がっていけば」(同社)。同業態を新たな事業モデルとして、今後中核事業に育てていく方針。同店でニーズを把握、ノウハウを蓄積し、検証を行った上で、関東エリアでの多店舗展開も検討する。

吉田社長は「“新たなコミュニティをつくる”ということが大きなテーマ。ここに来ると新たな出会いがあったり、一生の仲間ができたりといったコミュニケーションが生まれる、会社でも自宅でもない第三の場所になれば。日々行きたくなり、時間を過ごしたくなる施設を目指していきたい」と話している。
[1/17付ぐん経]

【取締役就任】

(有)グループホーム恵の家・金井大輔氏(沼田支部所属)は、この度、「取締役」に就任しました。

【会員登録変更】

(株)サンモール、代表取締役・藤野伸夫氏(沼田支部所属)は、この度、「取締役常務・藤野晃嗣氏」に会員登録を変更しました。

【事務所移転】

(株)米田横堀建築研究所、代表取締役所長・横堀将之氏(前橋支部所属)では、この度、下記のとおり事務所を移転し、合わせて電話番号・FAX番号を変更しました。

〒370-0071 高崎市小八木町2000-2

TEL: 027-361-5200

FAX: 027-361-5211

【事務所移転】

松本会計事務所、所長・松本康秀氏(高崎支部所属)では、この度、下記のとおり事務所を移転し、合わせて電話番号・FAX番号を変更しました。

〒370-2344 富岡市黒川485-1

TEL: 0274-64-9800

FAX: 0274-64-9806

【組織変更&取締役副社長就任】

(有)金具屋種苗店、代表取締役・安藤尚武氏(沼田支部所属)では、この度、「(株)ぐんたね沼田営業所」に組織変更し、合わせて「取締役副社長」に就任しました。

第9回 理事会報告

日時 一月八日(火)

十八時三十分

会場 同友会事務所・会議室

出席者(順不同・敬称略)

正副代表理事/山岸、澤浦、提箸、高山、常任理事/戸塚、町田、阿久戸、生沼、平岩、中野、小林、水野、阿久戸、植杉、理事/海老沼、杉崎、佐藤、宮石、丸橋、岡田、布施、神保、篠原、阿左見、池沢、佐藤、関口、小坂橋(代理)、事務局/黒岩、阿久澤、竹内(役員計二十八名)

【議事】

青年部会長の阿久戸氏が議長をつとめ、澤浦代表理事挨拶のもと、第九回理事会開会。

I. 報告・連絡事項

1. 総務会報告

一月二十四日に開催する外国人材の活用に関する全県例会の詳細を検討したことなどが高山副代表より報告されました。

2. 各支部・部会・委員会等の案内報告

前橋支部、高崎支部、経営指針部会より、それぞれ案内等がありました。

3. その他

① 第四九回中小企業問題全国研究集会(長崎)の案内と合わせて、富岡支部から八名参加することが報告されました。② 共愛学園前橋国際大学の地域人材育成協議会からの依頼について説明がありました。

II. 承認事項

1. 入退会者承認と仲間づくりについて

前回理事会以降の入会者一名、退会者五名を承認。会員数は五三七名となりました。

III. 審議事項

1. 役員選考について
新年度理事候補者の追加

新会員ご紹介

1 月度常任理事会承認
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

(株)山添商事

〒377-0004 渋川市半田2680
TEL : 048-663-1555
FAX : 0279-23-5396
不動産賃貸業



代表取締役
山添 由美香
S43年生

【紹介者/齋藤和子】

当社は埼玉県さいたま市で創業し、不動産賃貸業を営んでおります。物件はさいたま市と渋川市にあります。又、グループ企業として渋川市にて運送業も営んでおります。先代から受け継いだ旧式の会社運営の当社を、時代に合う柔軟性のある企業に成長していく為に経営者として学び続けていきたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

渋川吾妻支部

III. 審議事項

1. 役員選考について
新年度理事候補者の追加

全ての財務会計システムと連携可能
AIを活用したクラウド型経営支援システム

YOJITSU
2019年4月リリース予定

同友会高崎支部会員

株式会社 シスプラ
http://www.syspla.co.jp/

0120-638-377
群馬県高崎市問屋町3-10-3 問屋町センター第2ビル
TEL.027-363-8377 FAX.027-363-8313

部品加工の 株式会社 マテハン

同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。

ホームページで仕事の受注が来ました。
好評「部品加工のマテハン」

URL:http://www.kk-matehan.co.jp/
E-mail:mth@kk-matehan.co.jp

従業員数 12名
代表取締役 島山 淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL. 0276(37)4571
FAX 0276(37)4562

安全と安心のトータルソリューション

KB 関東防災工業株式会社

~消防設備と電気設備の設計・施工・保守、消防用品の販売に加え
雷が落ちない本当の避雷針(PDCE)の販売、防災コンサルティングまで~

◆ 本社 / 前橋市高井町一丁目29-7
TEL : 027-251-3535 FAX : 027-251-3540

◇ 安中営業所 / 安中市西上磯部1736
TEL : 027-385-5261 FAX : 027-385-5291

これからもお客様の信頼を糧に

私たちはできること。
それは
未来の地球のために、
そしてお客様にも、
やさしい企業であること。

「水なし印刷」をお薦めします

「水なし印刷」は、有害な廃液を含む湿し水を一切使用せず
現像工程の現像液使用量・廃液量も大幅減、またCO2排出量も削減します。
環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
私たちは、これからも環境に、お客様にやさしい企業を目指します。



JOBU PRINTING CO., LTD.
TELEPHONE 027(352)7445 FACSIMILE 027(352)2953
E-mail:eigy@jp-t.co.jp URL:http://www.jp-t.co.jp

上武印刷株式会社 〒370-0015 高崎市島野町890-25

